

ものいへぬ

一茶

(前文略)

いかに 人面獣心の 富衛門なればとて、

人の目をかすめて盗む 衣食などとは ことかはりて、

生ある者を かくむごく、なさけなく、

つれなくふるまひし ものかなと、

知るも 知らぬも みなみな 涙ほろほろ 撫でさすりぬ。

あやつ、金をむさぼりて なせるや、

根を ふくみて いたせるや、

風上におくも おそろしく なん。

ものいへぬ 童の口を 赤渋の

水はめるとは 鬼もえせじな

水はめるとは 鬼もえせじな